

# 別府で 議員と語ろう

# 出前県議会

## 別府のまちづくりについて

1月27日は別府で初めての出前県議会「議員と語ろうイン東部地域」が豊泉荘で開催されました。観光都市別府のまちづくり・振興について意見発表の後、意見交換しました。

県議会議員のほか、来賓として長野市長、萩野市議会議長らも出席。意見を交わしました。

## 市民代表と意見交換

亀川さんもく会、緑ヶ丘校区青少年育成協議会など5人の別府市民の方が意見発表。

別府八湯温泉道名人会の佐藤正敏理事長は、共同温泉を守り伝えていく、別府のファンを増やしリピーターになってもらい移住につなげる、などの名人会の役割や活動を紹介。「別府八湯温泉道も九州温泉道もあるが、大分県温泉道はない。おんせん県大分として大分県温泉道を」と提言されました。実現にむけ一緒にがんばりましょう。

## 議員出前講座で学校を訪問

また、議員出前講座で青山中学校や姫島中学校にも行きました。昨年10月には県立看護科学大学で県議会の役割などをお話した後、「なぜ議員になったのか」などの質問に答えました。その際「署名活動で児童館ができたというえんどさんの話を聞いて、声を出すことが大事だとわかった」と学生さんが感想を述べ、とてもうれしく思いました。

県議会に関心を持ってもらおうとクイズを取り入れながら県議会の役割などを中学生にお話ししました。(下の写真)

2019. 11. 21.  
姫島中学校にて



出前県議会にて左端がえんど久子。みなさん大変熱心に地域活動に取り組み、一緒にまちづくりに努力していきたいと思いました。(上の写真)

2020. 1. 27.  
別府市 豊泉荘にて

